

平成19年2月22日
東日本旅客鉄道株式会社

第16回地球環境大賞 文部科学大臣賞受賞

平成19年2月22日(木)地球環境大賞の発表があり、当社の環境への取組みが文部科学大臣賞を受賞いたしました。

地球環境大賞はフジサンケイグループが主催し、財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)が特別協力、経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省が後援、日本経済団体連合会が協力する環境に関する顕彰制度として日本でもっとも権威と格式をもつ制度のひとつです。

E231系等の省エネ車両の開発・導入、ディーゼルハイブリッド鉄道車両の開発・導入、及び燃料電池ハイブリッド鉄道車両の研究・開発など、列車運行用エネルギーの削減の取組みが評価され、表彰を受けました。

今回の受賞を受け、今後も地球環境保護への取組みを継続していきます。

1. 受賞内容 第16回地球環境大賞
文部科学大臣賞

2. 受賞事由 「省エネ車両の継続的導入と世界初のハイブリッド鉄道車両の開発・導入」
従来車両の約半分のエネルギーで走行し、車両重量の約9割がリサイクル可能なE231系等の省エネ車両を81%(2005年度実績)導入した。また、新たな動力システムにより環境負荷低減を目指す「NEトレイン」の開発を進めており、2007年夏頃に小海線(小湊沢~小諸間)に営業車として世界初のディーゼルハイブリッド鉄道車両3両を導入する予定である。さらに、世界初の燃料電池ハイブリッド鉄道車両の開発を開始し、2006年7月から試験を行っている。



省エネ電車E231系



NEトレイン



ディーゼルハイブリッド鉄道車両（イメージ図）



燃料電池システムを用いた将来の鉄道システムのイメージ

3.表彰式

(1)日時 平成19年4月12日(木) 12:30~15:00

(2)場所 明治記念館(東京都港区元赤坂)

4.地球環境大賞について

(1)概要

地球環境大賞は1992年、「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、産業界を対象とする顕彰制度として、財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン、名誉総裁・秋篠宮殿下)の特別協力を得て、創設されました。

(2)主催等

主催：フジサンケイグループ

特別協力：財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)

後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省

協力：日本経済団体連合会